

府営荒木住宅



リビングほしがおか

誰も置き去りにしない顔の見える福祉活動の実践

リビングほしがおか 原口 正彰



はじめに・・・

超高齢社会の現在、地域における福祉活動が非常に重要になっています。星ヶ丘も例外ではなく、超高齢化の波は、訪れています。

星ヶ丘においては、この状況を悲観することなく、もっと前向きに捉え、高齢者がいきいきと暮らし、少ない子供たちをどうすれば未来の使者として育てられるのか、多様化する地域福祉のニーズと住民参加のあり方を考えてきました。

平成14年小地域ネットワークのボランティア組織の結成。ふれあい訪問を出発点として、町会、民生児童委員、町会各種団体が連携し、福祉活動を展開していきました。

星ヶ丘町にとって、この小地域ネットワーク活動が地域福祉の原点となっています。

星ヶ丘町の概要

岸和田市の北西部に位置し、星ヶ丘町は大阪府営荒木住宅として36年にできました。

平成9年に立て替えにより高層団地として発足新生星ヶ丘町が誕生しました。

元の住民の入居、新たな世帯の入居があるものの平成26年には高齢化率は26%を超え、独居高齢者も増加してきました。【荒木町高齢化率：26.3%（R5.10/1現在）】【星ヶ丘町独居率：36%（R5.4/1現在）】

40年前は、子供の幼稚園の迎えの車がいきかいました。現在は、デイサービスの車が何台も行き、救急車のサイレンが一晩に何度も鳴り響く町となっています。

平成14年「一人を大切に安心とふれあいの町づくり」をテーマに小地域ネットワーク（スターヒル）が発足

⇨ 平成20年6月「リビングほしがおか」誕生

誰も置き去りにしない、顔の見える福祉活動の実践をあいことばに地域の子供から高齢者までを対象に・・・

- ❀朝市❀街かど保健室❀カラオケ❀いきいきサロン❀ハッピーランチ❀クラブ活動❀いき百体操
- ❀専門職とのミーティング等、様々な活動を展開

ふれあい喫茶

R4年度 来場者 12,212人
(開催回数 194回)

日、月、水、金曜日

AM9:00~PM4:00
コーヒー、ジュースなど100円
トースト、ゆで卵 50円
和菓子、おにぎり 100円
ケーキ200円



朝市ほしがおか

R4年度 来場者 1,302人
(開催回数 43回)

毎週日曜日

AM9:00~12:00
旬の野菜を販売します



街かど保健室

R4年度 来場者 173人
(開催回数 7回)

毎月第2水曜日

PM1:30~3:00
体のことから生活のことまで
医療、福祉の専門職が
ご相談お伺いします



- 平成14年「小地域ネットワークスターヒル」(毎月第2土曜日)
(65歳以上独居高齢者の見守り、他)
- 平成18年「星ヶ丘町災害対策委員会」
平成26年「星ヶ丘町防災福祉コミュニティ」に変更
- 平成18年「星ヶ丘子供の安全見守り隊」(登校時見守り)
- 平成20年「ふれあいリビングほしがおか」(日・月・水・金 開催)
(誰もが集える、居場所)
- 平成20年「いきいきネット相談広場」(毎月第2水曜日)
- 平成21年「学校ボランティア」(下校時校門で見守り)
- 平成21年「子育てサロンはやぶさ・飛翔」(小中学生学習支援)
- 平成21年「朝市ほしがおか」(毎週日曜日開催)
(高齢者の見守りと、買物難民対策)
- 平成22年「安心カード登録制度」(緊急時連絡先の登録)
- 平成22年「ボランティアポイント制度」(ボランティア活動推進)
- 平成23年「有償ボランティア美活グループ」
- 平成27年「ハッピーランチ(子供ランチ)」(月・水・金)
(孤食防止・子育て支援)
- 平成27年「ランチミーティング」
(毎月第2水曜日開催)
(地域と専門職と行政との連携)
- 平成27年「はつらつ体操」(毎週火・木開催)
平成29年「いきいき百歳体操(白傘会)」に変更
(生活不活発発病・介護予防・社会参加促進)
- 平成28年「街かど保健室」※「いきいきネット相談広場」から変更
(地域の多様な福祉課題の相談窓口)

R4年度 対象者 123人
(災害時避難行動要支援者含む)

R5年1月現在
登録者 95人

R4年年度 参加者 116人
(開催回数 9回)

R4年年度 参加者 702人
(開催回数 84回)

R4年度 来場者
 子供219人 大人559人
 (開催回数 20回)

DANCHIカレー亭



毎月第1・第3
 土曜日
 PM5:00~7:00
 小、中、高校生 無料
 大人300円

- ・平成29年「ロビンフード基金」設立
 (子育て支援・子ども食堂支援・生活困窮者支援)
- ・平成29年「ナイトリビングDANCHIカレー亭」
 (毎月第1・第3土曜日開催)
 (大人も子供もみんな一緒に)
- ・平成30年「鍵ボックス設置事業」
 (孤独死・孤立死防止・万が一の時すばやく発見・救助)
- ・令和3年「リビング宅食事業」
 (一人親支援 ※認定こども園と連携・生活困窮者支援)
- ・令和4年「子育て支援(子供育成会)」発足
 (子ども会解散の為、全世代で子育て支援活動を行う。)

R5年1月現在 設置者 84人

鍵ボックス

ロビンフード基金

その他の活動

**鍵ボックス
 設置しませんか?!**

万が一に備えましょう!

- 万が一の時すばやく発見救助が出来ます
- 鍵ボックス設置で1000円助成します
- リビングほしがおかでご用意します。

鍵をしまったボックスは、明証番号を知っている人しか開けることができません。自宅に鍵がかかっても、明証番号を知っている人が鍵を抜けば、安心の確認ができます。

対象：お一人暮らしのご高齢の方

お問い合わせ先
 リビングほしがおか
 Tel. 441-9331

<これまでの実績 (H29~R4)>

収入合計：1,777,083円
 支出合計：1,455,735円

<令和4年度 実績>

収入：495,194円
 (内訳) 寄付金 145,294円
 募金 199,900円
 助成金 150,000円

支出：516,262円
 (内訳) 学習支援 255,613円
 子育て支援 170,649円
 学校支援 90,000円

ロビンフード基金
 (生活困窮者支援活動)

多様な福祉課題は、地域に山積しています。子供の将来対策は、家庭の課題ですが、貧困の懸念も拡大しています。リビングほしがおかにおいて、子育てから、高齢者まで支える事業を広げ、多様な生活困窮者の支えるため「ロビンフード基金」を設立しました。

支援対象
 ・学習支援事業(岸和田市福祉部生活福祉課)
 ・子供ランチ(リビングほしがおか)
 ・子ども食堂(DANCHIカレー亭)
 ・地域で支援を必要とする、個人、団体

「基金への寄付も募っています」

実施主体 リビングほしがおか
 連絡先 原口 090-6962-3515
 集会所 072-441-9331

- 折り紙教室 第2日曜日
- 書道教室 毎週月曜日
- きめこみ教室 毎週水曜日
- 数独友の会 毎週水曜日
- いきいき百歳体操 毎週火、木曜日
- カフェミーティング 第2水曜日



「リビングほしがおか」

～スローガン～

**いざよりも、日々が大切、地域のふくし
差しのべる手は、今日も明日も！**

地域における支援活動は、日々、地域の福祉課題をすみやかに把握し、日常的にアウトリーチすることが大切です。

**誰も置きざりにしない、笑顔のふくし
あなたと私のおもいやり！**

地域における支援活動は、年齢や性別、国籍、宗教、障害の有無などの違いを尊重することが大切です。（ダイバーシティ）（ソーシャルインクルージョン）
貧困や差別をなくし、誰も置きざりにしない社会を目指す国連のSDGs

**一人が大切、地域のふくし
今日も笑顔であなたと共に！**

地域における支援活動は、目の前の一人をいかに大切にするかが大切です。一人を大切に出来なければ、多くの人の支援はできない。ともに寄り添う支援（パーソナルサポート）をすることが大切です。



リビングほしがおかでのSDGs達成に向けた取組



取組：ロビンフッド基金



生活困窮者の支援に活用されています。



子ども食堂支援や、学習支援を受けている子どもたちへの夜食提供に活用されています。



学習支援を受けている子どもたちへの図書カードの贈呈に活用されています。

取組：ふれあいリビングほしがおか



誰もが集える“居場所”です。



お互いに支え合い、尊重し合って、みんながいきいきと暮らせる“まち”をめざします。



さまざまな人、団体、事業者などが手と手を取り合い、一丸となって、誰一人置き去りにしない福祉活動を実践します。

取組：美化活動



住みやすい、住み続けられる、美しい“まち”をめざしています。



河川のきれいすることで、海の豊かさを守ります。



美化を進めることで、自然の保全や生態系の保全につながります。

取組：朝市ほしがおか



高齢者の見守りを兼ねて、買い物難民の方の買い物支援を行うことで、みんなが安心して暮らせる“まち”をめざします。



顔の見える関係づくり、ともに寄り添う支援を実践します。

取組：学校ボランティア



子どもを見守ることで、子どもたちは安心して学校生活を送れます。



地域での見守りが、子どもとその家族にとって安全で安心な“まち”につながります。

取組：街かど保健室



生活の困りごとや健康に関する相談を気軽にできる体制を整えることで、みんなの心と身体の健康をめざします。

ここに掲載している取組は、リビングほしがおかさんで行われている取組の一例です。

～ 誰一人取り残さない社会をめざして ～